



農畜産物の更なる市場開放の反対と農業・農村政策の確立を 求める特別決議を採択／道農連第48回定期総会

道農連は2月16日、共済ホールで第48回定期総会を開催し、全道・地区市町村組織の代議員ら約70名が参加した。総会では、2020年度活動報告及び収支決算、2021年度運動方針及び予算案を満場の拍手で採択。併せて、「農畜産物の更なる市場開放の反対と農業・農村政策の確立を求める特別決議」を採択した。

なお、役員改選では、西原正行委員長が退任し、新委員長に大久保明義氏が就任した。また、新副委員長に出嶋辰三氏が就任し、増田俊司副委員長と中原浩一書記長は再任された。

2021年度の執行体制などを決定／第1回執行委員会

道農連は2月25日、第1回執行委員会を開催し、2021年度の執行体制を決定するとともに、春闘の基本農政対策、業態別対策骨子について協議した。

業態別対策委員長には、米・水田農業対策委員長に大久保明義委員長、畑作・野菜対策委員長に増田俊司副委員長、酪農・畜産対策委員長に出嶋辰三副委員長が就任した。

このほか、基本農政をめぐることは、菅政権が推し進める新自由主義農政から現場主義農政への転換を目指すとともに、我が国の食糧主権を守るため、国際貿易交渉における農畜産物の更なる市場開放には断固反対の姿勢を貫くこととした。

また、関連法案対策においては、農林水産委員会や規制改革推進会議等の動向を注視し、内容などを精査しながら時宜に応じた要請を行い、「真の農政改革」の実現を目指す。併せて、今後もコロナ禍が続くと見通されているなか、感染防止対策を徹底した上で、生産現場の意見を集約しながら最大限の運動と事業展開を進めるとともに、道民各層との連携強化を図り、食と農に関する国民合意運動に努めることとする。

2月の活動記録(上記以外)

- 3日 全上川農民連盟定期総会、改正種苗法説明会
- 4日 空知農民連合定期総会
- 5日 道南地区農民連盟定期総会
- 8日 釧根地区農民連盟定期総会
- 10日 全十勝地区農民連盟定期総会
- 12日 後志地区農民連盟定期総会
- 13日 北見地区農民連盟定期総会
- 15日 合成洗剤追放北海道連絡会第4回運営委員会
- 17日 道農産協会企画調整部会
- 25日 三役会議、道農業再生協議会第3回水田部会

3月の活動予定

- 4日 水稻低コスト・省力化生産技術研修会
- 9日 道農産協会企画調整部会
- 22日 第1回米・水田農業対策委員会
- 25日 第1回畑作・野菜対策委員会
- 26日 第1回酪農・畜産対策委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(TEL011-241-5416)まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

